

中心的なビジョン

聖書：コロサイ 2:2. エペソ 3:4. ローマ 9:21, 23.

ピリピ 2:13. コロサイ 1:12. ローマ 12:5

- I. パウロの完成する務めは、神の奥義としてのキリスト（コロサイ 1:25-27. 2:2）と、キリストの奥義としての召会（エペソ 3:4）に関するものです。これはキリストと召会という偉大な奥義です（5:32）：
- A. 神は奥義であり、キリストは神を表現する神の具体化として（コロサイ 2:9）、神の奥義です。
 - B. キリストもまた奥義であり、召会はキリストを表現するキリストのからだとして、キリストの奥義です。
 - C. この奥義は神のエコノミーです。それは神の具体化としてのキリストを神の選びの民の中へと分与し、からだを生み出してキリストにある神の具体化とならせ、神が団体の表現を得ることです—— I テモテ 1:4. エペソ 3:8-9。
- II. パウロの完成する務めの中心的なビジョンは、わたしたちの内容としてわたしたちの中におられる神、神の奥義としてのキリスト、キリストの奥義としての召会です：
- A. 人は神を入れる器です——創 2:7-9. 使徒 9:15. ローマ 9:21-24. II コリント 4:7. II テモテ 2:20-21：
 - 1. わたしたちは自分の振る舞いについてのすべての考慮から離れて、神で満たされることだけを顧慮することを学ばなければなりません。
 - 2. 神は聖書において、食物、水、息として例証されています。わたしたちが食べる食物、飲む水、呼吸する空気を取り入れるのと同じように、わたしたちは彼を取り入れ、彼で満たされなければなりません——ヨハネ 6:35, 57. 4:10, 14. 7:37-39. 20:22. 哀 3:55-56。
 - 3. エペソ第4章6節は、御父はわたしたちの上におり、わたしたちを貫いているだけでなく、わたしたちの中にもおられることを啓示しています。神はわたしたちの中にご自身を住まわせています。
 - 4. エペソ第3章19節は言います、「あなたがたが満たされて、神の全豊満へと至るように」：
 - a. 満たされて神の全豊満へと至ることは、みたまされて神であるすべてへと至ることを意味します。神の豊満は、神が何であるかの豊富が神の表現となることを暗示します。
 - b. 神であるすべてはわたしたちの内容となるべきです。わたしたちは彼で満たされているので、彼の豊満、彼の表現となります—— 14-19節。
 - 5. ピリピ第2章13節は言います、「神の大いなる喜びのために、願わせ働かせるのは、あなたがたの内で活動する神だからです」：
 - a. この節における思想は、神はわたしたちの内側で動き、行動し、働いているということです。
 - b. わたしたちの内で活動する（活力を与える）神は、三一の神、すなわち、父、

子、霊であり、わたしたちの中におられるキリスト（Ⅱコリント 13:3 前半、5）、わたしたちの中におられるその霊（ローマ 8:11）である神です。三者、すなわち、霊、神、キリストは一です。

6. ヘブル第 13 章 20 節から 21 節は言います、「平安の神、すなわち、永遠の契約の血による羊の大牧者であるわたしたちの主イエスを死人の中から引き上げた方が、ご自身の目に喜ばれることを、イエス・キリストを通してわたしたちの中で行ない、みこころを行なうために、あらゆる良いわざをもって、あなたがたを成就していただきますように。その方に、栄光が永遠にわたってありますように。アーメン」:

- a. 新しい契約はさらにまさった契約であるだけでなく（7:22. 8:6）、永遠の契約でもあります。それはキリストの血の永遠の効力のゆえに永遠に効力があります。キリストの血をもって新しい契約は制定されました（マタイ 26:28. ルカ 22:20）。
- b. 神はわたしたちの中で、イエス・キリストを通してご自身の目に喜ばれることを行なっています。それによってわたしたちはご自身のみこころを行なうことができます。内住のキリストを通して、神はわたしたちの中で働き、わたしたちは神のみこころを行なうことができます——ガラテヤ 1:15 前半、16 前半、2:20. 4:19。

7. I テモテ第 3 章 16 節は言います、「偉大なのは敬虔の奥義です。この方は肉体において現され、霊において義とされ、御使いたちに見られ、諸国民の間に宣べ伝えられ、世の人の中で信じられ、栄光のうちに上げられた」:

- a. キリストは肉体における神の個人の現れであり、キリストを表現するためのキリストのからだとしての召会は、肉体における神の団体の現れです。
- b. 敬虔は召会において神を生きること、すなわち、召会において生かし出される生活としての神を指しています。

8. わたしたちは見なければなりません、神は復活において、キリストを通して、その霊としてわたしたちの中へと入り、今やわたしたちに内住し、わたしたちと一であり、わたしたちを彼ご自身と一つ霊にしました。彼の器として、わたしたちは彼で満たされるべきであり、わたしたちが行なうことは何であれ、彼の表現でなければなりません——I コリント 15:45 後半、6:17. ローマ 8:2, 4, 6, 9-11. ヨハネ 14:23, 16-17. II コリント 4:7。

B. 神の奥義は、神の具体化また現れとしてのキリストであり、神をわたしたちにとって実際とし、享受することができる方とします——コロサイ 2:2, 9. ローマ 9:5:

1. キリストは信者たちにとってすべてです——I コリント 1:9. 15:45 後半. エペソ 3:8. II コリント 4:6-7. ヨハネ 8:58:

- a. キリストは聖徒たちに割り当てられた分け前です——コロサイ 1:12. 2:6. I コリント 1:2。
- b. キリストはわたしたちの命です——ヨハネ 14:6 前半. コロサイ 3:4. ローマ 8:2, 4, 6。
- c. キリストは栄光の望みです——コロサイ 1:27. エペソ 1:18 後半. 4:4 後半. ロ

ーマ 8:19, 23-25。

- d. キリストはわたしたちの必要であり、わたしたちの享受です——ヨハネ 8:12, 6:51, 57 後半. I コリント 10:4. ヨハネ 20:22. ガラテヤ 3:27. ヨハネ 15:7 前半. コロサイ 2:16-17. マタイ 11:28。
- e. キリストはわたしたちにとって神の力また神の知恵です——I コリント 1:24, 30。

2. キリストは召会にとってすべてです：

- a. キリストはからだのかしらです——コロサイ 1:18。
- b. キリストはかしらのからだです——I コリント 12:12。
- c. キリストは土台の石です——イザヤ 28:16. I コリント 3:11。
- d. キリストは生ける石、隅の石、頂石です——I ペテロ 2:4, 6-7. エペソ 2:20. ゼカリヤ 3:9, 4:7。
- e. キリストは新しい人のすべての肢体です——コロサイ 3:10-11。

3. 神がわたしたちに認識して欲しいことは、三一の神、すなわち、父、子、霊が、キリストの中で、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天を含む過程を経過したということです：

- a. 肉体と成ることによって、キリストは無限の神を有限な人の中へともたらしめました——ヨハネ 1:14。
- b. 人の生活において、主イエスは人性において神性を表現しました——14:9-11。
- c. 十字架によって、イエス・キリストは旧創造を終結させました——コロサイ 1:15。
- d. 復活によって、彼はわたしたちを新創造として発芽させました——I ペテロ 1:3。
- e. 昇天によって、彼は栄光を現し、高く上げられ、御座に着き、主と定められ、神聖な統治を伴う使命を受けました——使徒 2:33, 36。
- f. このことに続いて、彼はすべてを含む命を与える霊として召会の上によって来ました——1:8, 2:4。

4. 命を与える霊として、主は人々が彼の中へと信じることによって、彼を受け入れることを待ち望んでいます——I コリント 15:45 後半. II コリント 3:17. ヨハネ 1:12-13. 3:15：

- a. 人が主イエスの御名を呼び求めるとすぐに、キリストは直ちに彼の中へと入り、彼の霊を再生し、彼の霊に内住し、ご自身を彼の再生された霊とミングリングし、彼をご自身と真に一とします——6節. I コリント 6:17。
- b. 初信者は二つの霊、すなわち、彼の再生された霊と命を与える霊を知るに至らなければなりません。それによって彼は造り変えられ、他の人たちと建造されてからだ、有機体となって、三一の神を表現し、神の定められた御旨を成就します——II コリント 3:18. エペソ 2:21-22. 4:16。

C. キリストの奥義とは、三一の神が死を通して、復活においてご自身をわたしたちとミングリングし、わたしたちを彼の生ける有機体の肢体としつつあるということです：

1. 中心的なビジョンは、神の表現であるキリストが命を与える霊となって、神がご

自身をわたしたちの命としてわたしたちの中へと分け与え、わたしたちを彼のからだの生ける肢体とし、有機的に彼を表現するということです——I コリント 15:45 後半、ローマ 12:5。

2. 主はわたしたちにとって命またすべてとしてのキリストと、彼のからだ、彼の豊満としての召会を回復しつつあります——コロサイ 3:4, 11, 16. 2:19。
3. 主が欲するのは、ご自身で注入され、満たされ、浸透されている信者たちから成る召会が彼のからだとなって、彼を表現することです。最終的に、この生けるからだはキリストの愛する花嫁となり、彼の再来のための道を用意します——エペソ 1:22-23. 啓 19:7-9。
4. わたしたちは重要でない事柄を顧慮したり、教理や実行によってそらされたりすべきではありません。そうではなく、わたしたちが顧慮すべきなのは、三一の神がわたしたちの中へと分与されることによってわたしたちが生ける証しとなり、彼の有機的なからだの肢体となって、彼を表現することです——エペソ 3:6, 19 後半, 21。
5. わたしたちは次の面においてキリストの奥義としての召会を見る必要があります：
 - a. 召会は、世の基が置かれる前から、キリストの中で、父なる神によって奥義的に選ばれ、あらかじめ定められていました—— 1:3-5。
 - b. 召会は、世の基が置かれた後、奥義的に贖われました—— 6-12 節。
 - c. 召会が贖われた時、それは奥義的に聖霊で証印を押され、担保としての聖霊を受けました—— 13-14 節。
 - d. 召会は、奥義的にキリストの復活の力にあずかり、彼が昇天において到達し、獲得したすべてにあずかり、それによってキリストのからだとなります—— 19-23 節。
 - e. 召会は、奥義的に神の王国また神の家としての宇宙的な新しい人となり、神の住まいとして建造されつつあります—— 2:15, 19-22。
 - f. 召会は、奥義的にキリストの計り知れない豊富にあずかります—— 3:2, 7-11。
 - g. 召会は、力をもって、神によって、彼の霊を通して、内なる人の中へと増強されます。それはキリストが奥義的に信者たちの心の中にホームを造るためです。召会はキリストが何であるかの広さ、長さ、高さ、深さで満たされ、神の全豊満となります—— 15-19 節。
 - h. キリストの召会の奥義的な結合は、宇宙における偉大な奥義です—— 5:32。
 - i. 召会は今日、三一の神と奥義的に結合され、ミングリングされており、新エルサレムの縮図であって、聖なる都をその最高の標準またすべてにおける無上の望みとする必要があります——啓 21:2。